



議会だより

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458

議会事務局 TEL0470-55-4804

第122号

元気いっぱい鋸南っ子



表紙の写真を探して鋸南小学校へ伺ったところ元気な男の子達が「写真撮って!」と駆け寄ってきたのでパチリ。撮ったこちらも“元気”をいただける、偶然の1枚となりました。

はやわかり

- 旧佐久間小が交流の場に・・・3
- 一般質問 2議員が町政を問う・・・4
- 新しい議会構成・・・7
- 議会活動トピックス・・・8

知っていますか

議会だよりは町のホームページでも見られます
議会だよりは、町のホームページに掲載しています。
過去の議会だよりも閲覧可能。
写真もカラーで見ることができます。

発行／鋸南町議会

編集／議会広報特別委員会

21世紀の子どもたちへ

教育水準の維持向上をめざして

6月定例議会は、会期を13日の1日間として開催した。定例会には、議員発議として、国の教育予算に関連した意見書案2件を上程した。

一方、町側からは、条例の一部改正案2件と平成29年度一般会計補正予算案、合わせて3議案が上程され、計5議案すべてを全員賛成で可決した。

一般質問には、三國、渡邊の2議員が質問席に立った。

議員発議案の

主な内容

総務常任委員会から提出された発議案は、国における平成30年度教育予算拡充に関する意見書、義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の2件。

黒川総務委員長からの提案理由の説明後、全員賛成で可決した。

鋸南町議会では、6月13日、議長名で、内閣総理大臣・財務大臣・文部科学大臣・総務大臣あて、意見書を提出した。

平成30年度教育予算

拡充に関する意見書

少人数学級の実現に関することや、保護者の教育費負担を軽減するための義務教育教科書の無償制度の堅持など7項目を挙げ、国財政が厳しい状況にあっても必要な教育予算を確保するよう要望するもの。

義務教育費負担制度の

堅持に関する意見書

21世紀の子どもたちの教育は、国が責任を持つとの観点から、教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、義務教育国費負担制度を堅持するよう要望するもの。

議案の主な内容

義務教育国費負担制度とは

子どもの経済・地理的条件や居住地に関わらず、無償で一定水準の義務教育を確保するため、地方財政を支援する制度。国は財政悪化を理由に減額や制度の廃止に言及している。

鋸南町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定

行政手続きにおける特定の個人を認識するための番号の利用等に関する法律(番号利用法)の改正に伴い、鋸南町個人情報保護条例の条文整備を行った。

鋸南町過疎地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例の制定

過疎地域自立促進特別措置法の改正に伴い、これまで固定資産税の不均一課税の対象となっていた情報通信

過疎地域と不均一課税とは

固定資産税は町が自由に税率を決定できる税の1つで、法や条例の定めにより特例税率を設けることが可能。人口減少の激しい過疎地(鋸南町はH12年に指定)では、特定業種の事業用土地建物、償却資産については、3年間減額措置をうけることができる。

技術利用事業を対象外とし、農林水産物等販売業を新たに加えようとするもの。平成29年度分固定資産税から適用される。



旧佐久間小が交流の場に

「地方創生拠点整備交付金」

一般会計補正予算（第1号）については、7,740万8千円を追加し、補正後の額を41億4,533万9千円とした原案を全員賛成で決した。

主な内容

議会費 議員報酬5%削減による251万4千円の減額。

総務費 損傷の激しい旧佐久間小特別教室棟解体工事1,814万4千円、解体後の跡地に調理施設・倉庫・トイレを設置、ダイニング佐久間小学校として設計委託料497万8千円及び工事費3,779万9千円を計上したもので、国の地方創生拠点整備交付金50%により住民の交流及び観光・農業体験に活用。

コミュニティセンター助成金1,200万円を仁浜



取り壊される特別教室棟

青年館改築事業に、一般コミュニティ助成金250万円を田町地区屋台改修事業へ自治総合センターからの助成金により補助するもの。

教育費 小学校特別支援学級が1学級増の見込みとなったため教室間仕切り工事費96万7千円を計上。

公民館関係 30万円の指定寄付により図書200冊程度の備品購入するもの。

歴史民俗資料館関係 臨時職員雇用による人件費202万8千円を増額。

主な質疑

質疑 ダイニング佐久間小学校整備工事を実施することによる旧佐久間小の将来構想を明確にし、全体が活かされる施設を要望するが、全体計画について伺う。

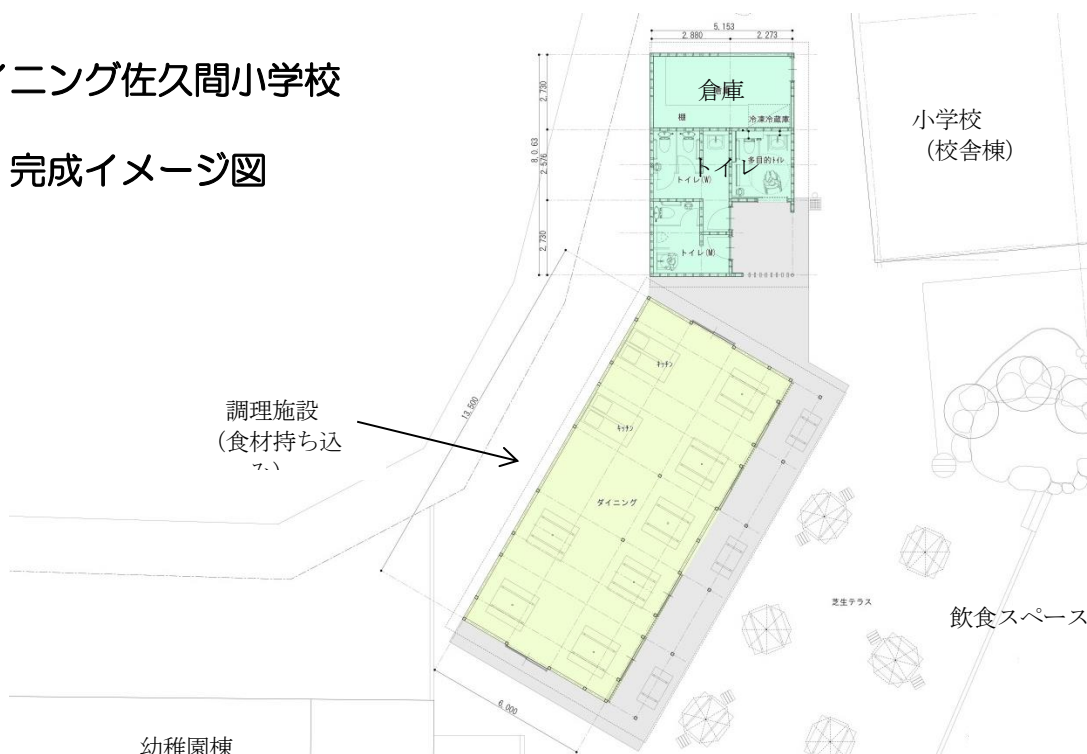
総務企画課長 校舎棟については自衛隊の訓練基地、体育館は避難場所、特別教室棟については、拠点施設として新たにダイニングとして整備を行い、その他に祭礼や選挙の投票所など複合的利用目的があることから、これら維持しながら経済活動・交流活動が展開できる仕組みを今後検討し進めていきます。

質疑 佐久間小特別教室棟の解体工事費の計上があるがアスベストはあったのか伺う。

総務企画課長 設計書によると屋根・外壁・渡り廊下3カ所にアスベストが使用されており、解体及び処分代で120万円程度が設計に見込まれています。

ダイニング佐久間小学校

完成イメージ図



ここが聞きたい

いっぱん質問



6月定例会には、2名の議員から一般質問が行われました。

議会の傍聴はどなたでもできます

次回の議会定例会は、9月です。

日程は、広報無線・町のホームページ等でお知らせします。
傍聴手続きは当日議場受付で住所・氏名・年齢を書くだけです！！



しんべえくん



みかえりちゃん

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や考え方を町長・教育長に方針を問うものです。

質問 地方財政の透明性を高め、住民に対する説明責任をより適切に果たし、財政の効率化・適正化を図るため、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書及び資金収支計算書の開示が推進されています。鋸南町の備品管理はどうなっているか。

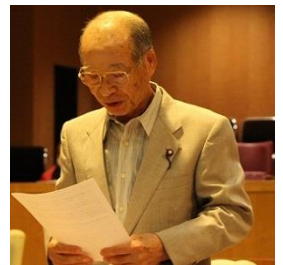
町長 一般会計分野では、簿冊による台帳管理を行い、年1回、年度末に確認を行っています。水道事業会計、病院事業会計は、独自の会計システムを運用し、簿冊管理を行っています。

質問 これまでの備品管理についての検討、経緯は。

町長 昨年度、総務企画課にて各課の台帳を取りまとめた備品台帳を整備したところです。一元的に管理することで漏れや紛失の防止に努めていきたいと思います。

質問 備品管理を財務システムと一体で管理、運用できるようにすることが必要だと考えるが。

町長 平成29年度末までに、統一的な基準による財務書類の作成が国から要



三国 幸次 議員

備品管理の現状は

国の無料会計ソフトの活用を

請されており、従来から行われている単式簿記から、通常の企業会計で用いられる複式簿記による資産・負債の「見える化」が求められています。当町では、平成26年4月から公認会計士と委託契約を結び、財務書類作成に取り組み、平成27年度決算では、統一的基準による財務書類の作成が済みであります。今後、国の方針の変更等があれば、業務効率化の観点から、固定資産台帳・公有財産台帳・備品台帳を包括したシステムと財務会計システムとの連携について検討していきたいと考えています。

要望 国が無料の会計ソフトを提供しているので、職員でできるように研究などして欲しい。





渡邊 信廣 議員

徹底した行財政改革を

町民を交えた行革委員会を求める

質問 少子高齢化や人口減少に伴ない生産年齢人口は4083人(48・9%)と県内でも極めて低く結果的に税収も減少傾向にある。加えて地方交付税も年々減少する中で、今年度は幼稚園建設等大規模な事業を抱え、今後も厳しい財政状況が懸念される。町では平成28年度行財政改革に取り組んだと聞すが、その内容について伺う。

町長 29年度から①業務の改善②施設等の有効活用③事業の推進④歳入の確保⑤歳出の削減による5つの指針を柱に3カ年で実行します。

質問 56項目による業務改善を検討したとの事だが、指針では予算等具体的取組みが見えない。例えば保田小は廃校となり4年、未だにプールの使用料40万円程度を払い続けているが今後の対応について伺う。

総務企画課長 道の駅保田小学校の駐車場としての構想がありますので引き続き借用し、今後の方針を検討します。

要望 早期の具体策を要望する。

質問 町営住宅については、昭和45年

建設の危険建物に近い老朽化施設であることから、32世帯収容施設に対し5世帯の利用で、収支バランスや当町の空き家の現状・安全面から見ても廃止すべきと思うが。

建設水道課長 家賃収入42万6千円

に対し、修繕及び土地代85万7千円の支出であり、空き家の状況を加味しながら入居者との協議も検討します。

質問 近隣3市で実施している外部の方を交えた住民目線での行革推進委員会を設置すべきと思うが。

副町長 必要に応じて推進委員会等設置します。



廃校になった保田小のプール

千葉県町村議会議長会

特別自治功労者表彰を受賞



5月25日、千葉市内において、千葉県町村議会議長会第1回定例会が開催されました。会議の席上、町議会議員を18年以上在職し、地方自治に特に功労があつた議員に贈られる、「特別自治功労者表彰」の発表があり、鋸南町議会からは、三国幸次議員・平島孝一郎議員・笹生正己議員の3名が、受賞された。

この伝達式は、6月13日の第3回鋸南町議会定例会で行われ、午後の議会再開前に、議場で小藤田議長より3名に表彰状と記念品が贈られた。

受賞者は、「長年、議員として活動できたのは、諸先輩議員からの指導や教訓の賜物。今後は自分達の経験を後進に伝えると共に、一層、議員活動に励みたい。」と述べた。



右から、三国議員・平島議員・笹生議員

臨時議会

5月9日に開催した臨時議会において、伊藤議長が先例により、辞職願を提出したことから、議長選挙及び副議長選挙を行い、議長に小藤田一幸議員、副議長に渡邊信廣議員を選出した。その後、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会などの構成を行った。

また、町長提出議案は、専決処分の承認3件、教育委員会委員の任命1件、固定資産評価審査委員会委員の選任1件の合計5議案。上程された全議案を承認・同意した。

小藤田一幸 議長



町行政との橋わたしを

この度、5月9日の臨時議会において、議長に選出いただきました。議会が公平にかつ円満に運営されますよう誠心誠意努力する所存です。

現在、町が抱えている課題はたくさんあります。その第一が人口減少の問題です。この5年間で佐久間地区と同程度の926名も減っています。このまま続けば、町の産業・文化に強烈な

ダメージを与え続けることが予想されます。

町民の皆様のご意見をいただきながら、議員と町行政の橋わたしを十分にすると同時に、議員の力量を高めるための研修にも力を入れたいと考えています。町活性化のため、町民の皆様のご支援・御協力を申し上げ議長就任の挨拶といたします。

渡邊 信廣 副議長



議会と行政が切磋琢磨を

この度、臨時議会において、副議長に選出いただきました。身に余る光栄と同時に、責任の重大さを痛感しております。

二元代表制の一翼を担う議会といいたしましては、小藤田議長のもと議会の調和を図りながら、町民目線に立った公正かつ円滑な議会運営に努めてまいりますと存じます。

当町においては、少子高齢化や人口

減少・町活性化対策など切実な課題を抱えておりますが、国の示した地方創生による総合戦略等に基づき、計画性・実効性ある魅力的まちづくりに向け、議会と行政が切磋琢磨をし、町発展に全力で取り組まなくてはなりません。町民の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

新しい議会構成

(敬称略)

総務常任委員会

議会事務局・総務企画課・税務住民課
保健福祉課・教育課・会計管理室
選挙管理委員会・監査委員・固定資産
評価委員会等に関する事務

委員長 黒川大司
副委員長 伊藤茂明
委員 小藤田一幸
鈴木辰也
笹生正己
三国幸次

産業常任委員会

地域振興課・建設水道課・農業委員会
に関する事務

委員長 緒方猛
副委員長 笹生久男
委員 田久保浩通
青木悦子
渡邊信廣
平島孝一郎

議会運営委員会

議会の開催日程の調整・上程すべき議
案の審査・議会運営に関する事項など

委員長 鈴木辰也
副委員長 三国幸次
委員 青木悦子
緒方猛
黒川大司
笹生正己

広報特別委員会

議会だよりの編集

委員長 緒方猛
副委員長 田久保浩通
委員 青木悦子
笹生久男
渡邊信廣

消防委員会委員

田久保浩通
笹生久男

環境審議会委員

笹生久男

国民健康保険運営協議会委員

青木悦子
伊藤茂明
三国幸次

監査委員 鈴木辰也

安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員

小藤田一幸
伊藤茂明

鋸南地区環境衛生組合議会議員

渡邊信廣
黒川大司
笹生正己
平島孝一郎

千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員

黒川大司

給食センター運営委員会委員

田久保浩通

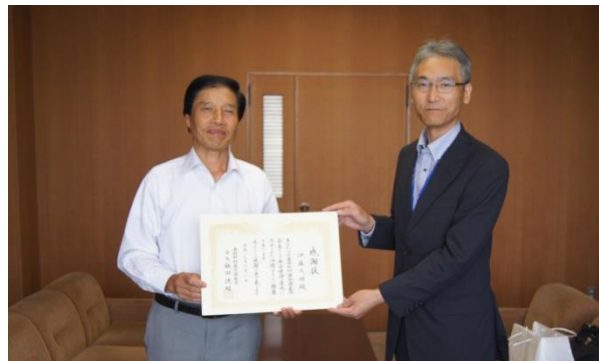
議会活動トピックス

町外からたくさんの参加



6月18日、観光協会主催の「きよなん白キス沖釣り大会」が開催され表彰式が行われました。

千葉県町村議会議長会より感謝状



6月23日、千葉県町村議会議長会を退任された伊藤茂明議員に、功績により同議会議長会より感謝状が贈られました。

議会だより編集委員（新メンバー）

よろしくお祈いします！



7月10日、議会広報特別委員会で、読みやすく、分かりやすい紙面づくりを目指していこうと方針を話し合いました。

私たちがつくります！



7月7日、市町村議会広報研究会に参加し、議会広報作成の基本や、編集技術等について研修しました。

議会の日誌

5月2日 議会運営委員会

5月9日 第2回議会臨時会

5月31日 議員全員協議会

6月8日 議会運営委員会

6月13日 第3回議会定例会

7月10日 議会広報特別委員会



編集後記



健康維持のために時々ウォーキングをしている。530運動の実施から1ヶ月程たったある日のこと。町内一斉清掃のさいもなく町道の両脇の草むらには空き缶・ペットボトル等、目を覆うような家庭ゴミが散在。見かねて、捨てられていたレジ袋にゴミを入れないが歩いた。大袋は満杯。誰が捨てるのやら。捨てる人の心の有り様などを考えつつ良策はないかと歩を進めた。人として道徳的観念が育っていないことはもちろんだが、飲食物の手軽な容器類がポイ捨てという行為を助長してしまうのだろうか。自然環境を大切にすることを心やゴミを捨てる人の気持ちなどを「付度する」(他人の気持ちなどを推し量ること)心を育てることが国づくり、まちづくりの基本かと考える。

青木